



2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年1月31日

上場会社名 株式会社WOW WORLD GROUP

上場取引所

東

コード番号 5128 URL <https://www.wow-world-group.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 グループCEO

(氏名) 美濃 和男

問合せ先責任者 (役職名) グループCFO兼経営企画室長

(氏名) 山下 浩昭

TEL 03-6387-0080

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2023年3月期第3四半期	2,159	—	412	—	178	—	162	—	98	—	98	—
2022年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2023年3月期第3四半期	25.56		25.56	
2022年3月期第3四半期	—		—	

※EBITDA=営業利益+減価償却費・減損・除却損+株式報酬費用

(注)当社は、2022年10月3日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績及び対前年同四半期増減率はありません。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	％
2023年3月期第3四半期	3,818	2,155	2,121	55.6		
2022年3月期	—	—	—	—	—	—

(注)当社は、2022年10月3日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
2022年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 詳細につきましては、本日(2023年1月31日)公表の「2023年3月期の期末配当予想の修正(無配)及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 当社は、2022年10月3日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び第2四半期までの実績はありません。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,000	—	620	—	330	—	320	—	200	—	50.00

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2022年10月3日に単独株式移転により設立されたため、対前期及び対前年同四半期増減率はありません。

※ EBITDA=営業利益+減価償却費・減損・除却損+株式報酬費用

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,017,152 株	2022年3月期	— 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	132,031 株	2022年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,870,675 株	2022年3月期3Q	— 株

(注) 当社は、2022年10月3日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表は、2022年10月3日付で単独株式移転により完全子会社となった株式会社WOW WORLDの四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2023年1月31日(月)に東京証券取引所「適時開示情報閲覧サービス」及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

(国際財務報告基準(IFRS)の適用)

当社は、2023年3月期第3四半期連結累計期間より国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社は、2022年10月3日付で単独株式移転の方法により、株式会社WOW WORLDの完全親会社として設立されたため、前連結会計年度及び前年同四半期連結累計期間との対比に関する記載は行っておりません。

また、当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年12月31日まで）の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社WOW WORLDの四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのワクチン接種が進み、経済活動の制限も徐々に緩和、正常化し始めましたが、依然として感染症再拡大の懸念があり、予断を許さない状況にあります。

また、米国を始めとした世界各国における金利の引上げやロシア・ウクライナ情勢による政情不安等により、経済情勢は不透明な状況が続いています。

当社グループが属するデジタルマーケティング業界は、新型コロナ禍において、マーケティング領域におけるデジタルシフトを強化する動きは加速し、顧客に対するアプローチや情報発信をデジタル化する需要は底堅い状況にあります。

このような状況の下、当社グループはカスタマーサクセスによるアップセル・クロスセル等の成果の発現に加え、コロナ禍のデジタル関連需要から新規問合せ件数が増加し、受注を伸ばしたことで、15期連続で増収となりました（持株会社化前の株式会社WOW WORLDから起算）。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高2,159,821千円、EBITDA412,047千円、営業利益178,223千円、親会社の所有者に帰属する四半期利益98,927千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①エンタープライズ・ソフトウェア事業

主力製品であるメールコミュニケーションシステム「WEBCAS e-mail」は株式会社アイ・ティ・アール発行の市場調査レポート「ITR Market View: メール/Webマーケティング市場2022」において、2020年度メール送信パッケージ市場のベンダー別売上金額シェア1位を獲得いたしました。なお売上金額における当社シェアは41.3%となりました。同レポートの予測では、2022年度も引き続きシェア1位（41.8%）となる見込みです。

これらの結果、当事業全体の売上高は1,468,562千円、売上高総利益率は65.0%となりました。

②大規模Web開発事業

当第3四半期連結累計期間においては、株式会社コネクティのCMSを活用したコーポレートサイトの構築が進捗すると共に、運用・保守についても伸長しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は440,553千円、売上高総利益率は15.2%となりました。

③コミュニケーション支援・コンサルティング事業

当第3四半期連結累計期間においては、コロナ禍における投資抑制の影響を受けつつも、採算重視による取組みが順調に推移しました。

これらの結果、コミュニケーション支援・コンサルティング事業の売上高は186,326千円、売上高総利益率は17.2%となりました。

④その他事業

当第3四半期連結累計期間においては、コロナ禍における顧客需要の減退と、仕入先の1つである中国のロックダウンの影響等により不振が継続しました。

これらの結果、その他事業の売上高は64,379千円、売上高総利益率は39.5%となりました。

なお、上記の状況から、株式会社ままちゅは2023年1月11日付で解散決議を行っております。詳細につきましては、添付資料「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項」に記載の（後発事象）をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、3,818,012千円となりました。

流動資産の主な内訳は、現金及び現金同等物が989,105千円、営業債権及びその他の債権が298,449千円であります。

非流動資産の主な内訳は、金融資産が853,002千円、無形資産が683,940千円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、1,662,513千円となりました。

流動負債の主な内訳は、契約負債が361,936千円、借入金が181,803千円であります。

非流動負債の主な内訳は、借入金が557,623千円、繰延税金負債が59,728千円であります。

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は、2,155,498千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高（以下、「資金」という）は、989,105千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な発生要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、451,760千円となりました。主な資金増加要因は、税引前四半期利益162,656千円に加え、減価償却費及び償却費203,293千円、営業債権及びその他の債権の減少75,033千円であり、主な資金減少要因は、法人所得税の支払額55,638千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果支払われた資金は、312,163千円となりました。主な資金減少要因は、無形資産の取得による支出206,737千円、投資有価証券の取得による支出102,465千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果支払われた資金は、126,157千円となりました。主な資金減少要因は、配当金の支払額119,753千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階において通期の連結業績予想の変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産	
流動資産	
現金及び現金同等物	989,105
営業債権及びその他の債権	298,449
契約資産	22,914
棚卸資産	5,781
その他の流動資産	82,075
流動資産合計	1,398,326
非流動資産	
有形固定資産	156,156
使用権資産	117,137
無形資産	683,940
のれん	541,497
金融資産	853,002
繰延税金資産	41,551
その他の非流動資産	26,401
非流動資産合計	2,419,686
資産合計	3,818,012

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債	
流動負債	
営業債務及びその他の債務	100,820
契約負債	361,936
借入金	181,803
リース負債	65,542
未払法人所得税	22,148
短期従業員給付	141,767
引当金	-
その他の流動負債	95,738
流動負債合計	969,758
非流動負債	
借入金	557,623
リース負債	50,353
その他の金融負債	-
引当金	25,049
繰延税金負債	59,728
非流動負債合計	692,755
負債合計	1,662,513
資本	
資本金	330,370
資本剰余金	342,251
利益剰余金	1,292,815
自己株式	△225,517
その他の資本の構成要素	381,856
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,121,775
非支配持分	33,722
資本合計	2,155,498
負債及び資本合計	3,818,012

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,159,821
売上原価	1,089,903
売上総利益	1,069,917
販売費及び一般管理費	910,355
その他の収益	31,520
その他の費用	12,859
営業利益(△損失)	178,223
金融収益	886
金融費用	16,454
税引前四半期利益(△損失)	162,656
法人所得税費用	66,134
四半期利益(△損失)	96,521
四半期利益(△損失)の帰属	
親会社の所有者	98,927
非支配持分	△2,405
1株当たり四半期利益(△損失)	
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	25.56
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)	25.56

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	744,139
売上原価	380,790
売上総利益	363,348
販売費及び一般管理費	287,161
その他の収益	27,215
その他の費用	11,705
営業利益 (△損失)	91,697
金融収益	0
金融費用	8,091
税引前四半期利益 (△損失)	83,606
法人所得税費用	35,518
四半期利益 (△損失)	48,087
四半期利益 (△損失) の帰属	
親会社の所有者	47,620
非支配持分	467
1株当たり四半期利益 (△損失)	
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	12.29
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	12.29

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益 (△損失)	96,521
その他の包括利益	
純損益に振り替えられることのない項目	
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本 性金融資産	2,219
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,219
税引後その他の包括利益合計	2,219
四半期包括利益	98,741
四半期包括利益の帰属	
親会社の所有者	101,147
非支配持分	△2,405

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益(△損失)	48,087
その他の包括利益	
純損益に振り替えられることのない項目	
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本 性金融資産	2,701
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,701
税引後その他の包括利益合計	2,701
四半期包括利益	50,789
四半期包括利益の帰属	
親会社の所有者	50,322
非支配持分	467

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2022年4月1日残高	322,420	292,931	1,313,860	△227,831	379,636	2,081,016	12,107	2,093,123
四半期利益(△損失)	-	-	98,927	-	-	98,927	△2,405	96,521
その他の包括利益	-	-	-	-	2,219	2,219	-	2,219
四半期包括利益合計	-	-	98,927	-	2,219	101,147	△2,405	98,741
新株の発行	7,949	7,949	-	-	-	15,899	-	15,899
子会社の支配獲得に伴う変動	-	-	-	-	-	-	5,775	5,775
支配継続子会社に対する持分変動	-	30,954	-	-	-	30,954	18,245	49,200
自己株式の処分	-	-	-	1,074	-	1,074	-	1,074
配当金	-	-	△119,972	-	-	△119,972	-	△119,972
株式報酬取引	-	10,416	-	1,239	-	11,656	-	11,656
所有者との取引額合計	7,949	49,320	△119,972	2,314	-	△60,387	24,021	△36,366
2022年12月31日残高	330,370	342,251	1,292,815	△225,517	381,856	2,121,775	33,722	2,155,498

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期利益 (△損失)	162,656
減価償却費及び償却費	203,293
金融収益	△886
金融費用	16,454
株式報酬費用	27,723
固定資産除却損	2,806
引当金の増減額 (△は減少)	△9,669
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	75,033
契約資産の増減額 (△は増加)	4,112
棚卸資産の増減 (△は増加)	12,695
営業債務及びその他の債務の増減 (△は減少)	31,204
契約負債の増減額 (△は減少)	△1,819
短期従業員給付の増減額 (△は減少)	2,215
その他	△8,326
小計	517,494
利息及び配当金の受取額	886
利息の支払額	△10,981
法人所得税の支払額	△55,638
営業活動によるキャッシュ・フロー	451,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△24,650
無形資産の取得による支出	△206,737
投資有価証券の取得による支出	△102,465
敷金及び保証金の差入による支出	△2,408
敷金及び保証金の回収による収入	39,009
子会社の取得による支出	△15,000
その他	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△312,163

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	160,000
長期借入金の返済による支出	△152,803
リース負債の返済による支出	△62,800
配当金の支払額	△119,753
非支配持分からの払込による収入	49,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126,157
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,439
現金及び現金同等物の期首残高	975,665
現金及び現金同等物の四半期末残高	989,105

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(後発事象)

(特定子会社の解散)

解散の理由

株式会社ままちゅは2018年の設立以降、お出かけ用ベビー服のECサイト「べびちゅ」を運営してまいりました。当社グループの主力サービスであるコミュニケーションプラットフォーム「WEBCAS」の主要顧客の一つがEC事業者であるため、当社自らECサイトを運営する事により、顧客ニーズの探索やテストマーケティング、各種サービス開発のヒントを得るための研究的位置づけとして活用し、一定の成果を得てきました。

しかしながら、コロナ禍における顧客需要の減退と、仕入先の一つである中国のロックダウンの影響等により不振が継続しており、今後の業績回復も不確実と判断し、同社を解散することといたしました。

解散する子会社の概要

(1)	名称	株式会社ままちゅ		
(2)	所在地	大阪府大阪市福島区玉川二丁目8番4号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 中西 康治		
(4)	事業内容	ベビー服等の衣料品の通信販売		
(5)	資本金	5,000万円		
(6)	設立年月日	2018年8月23日		
(7)	大株主及び持株比率	当社100%		
(8)	当社との間の関係			
	資本関係	当社は株式会社ままちゅの議決権の100%を保有しております。		
	人的関係	同社の監査役(1名)は当社取締役が兼務しております。		
	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	同社は当社の特定子会社であります。		
(9)	最近3年間の財政状態及び経営成績 (単位:百万円)			
	決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
	純資産	34	△8	△29
	総資産	54	28	33
	1株当たり純資産(円)	688.94	△166.32	△587.78
	売上高	136	165	117
	営業利益	△12	△19	△20
	経常利益	△12	△19	△20
	親会社の所有者に帰属する当期利益	△12	△42	△21
	1株当たり当期利益(円)	△258.39	△855.27	△421.45
	1株当たり配当金(円)	無配	無配	無配

解散の日程

2023年1月11日 当社取締役会による解散決議

2023年3月31日 同社清算終了(予定)

解散に伴う損失額と今後の見通し

本件が当社の2023年3月期連結業績に与える影響は、現在のところ軽微であると考えております。
今後公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

(参考) 当期業績予想及び前期実績

(百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
当期連結業績予想 (2023年3月期)	3,000	330	320	200
前期連結実績 (2022年3月期)	2,833	399	394	244

(注) 前期連結実績(2022年3月期)につきましては、2022年10月3日付の当社の持株会社体制への移行前における株式会社WOW WORLDの実績を記載しております。

(株式会社JG16による当社株券等に対する公開買付けについて)

当社は、2023年1月31日開催の取締役会において、株式会社JG16(以下「公開買付者」といいます。)による当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)及び新株予約権に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に関し、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主及び新株予約権者の皆様に対し、本公開買付けに応募することを推奨することを決議いたしました。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続により当社を公開買付者の完全子会社とすることを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

詳細につきましては、2023年1月31日公表の「株式会社JG16による当社株券等に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」をご参照ください。